magicolor® 2400W
ユーザーズガイド

4139-7733-04K
1800767-014D

はじめに

弊社プリンタをお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 2400W は、Windows の環境でお使いいただくのに最適なプリンタです。

ユーザー登録について

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。
http://printer.konicaminolta.jp より“サポート”を選び、“オンラインユーザー登録”にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。

（製品によってはユーザー登録後に保証書を発行させていただく機種がございます。）

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標または、登録商標です。magicolor は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標または、登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

本製品は Peerless Systems Corporation の Software Developer Kit を使用しています。

本製品は Novell, Inc. の NEST Office SDK を使用しています。

Microsoft®, Windows®, WindowsNT®, Microsoft® Windows® 95, Microsoft® Windows® 98, Microsoft® Windows® Me, Microsoft® Windows® 2000, および Microsoft® Windows® XP は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は米国およびその他の国々で登録された商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

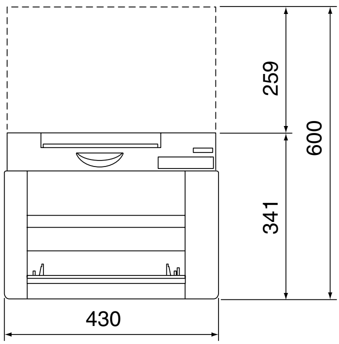
1 はじめに

お使いになる前に

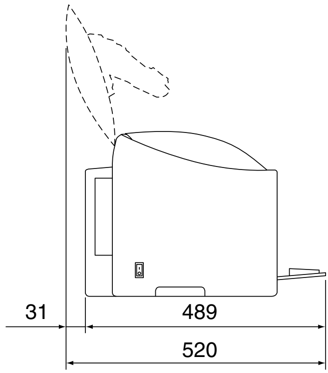
設置スペース

プリンタ操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

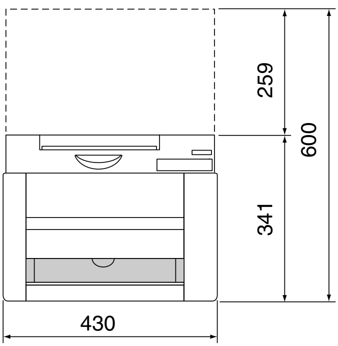
正面図



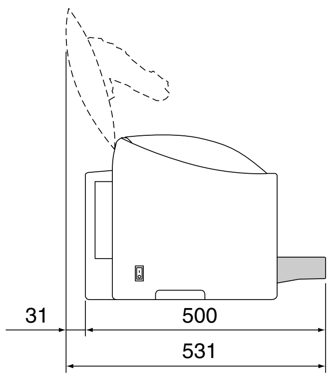
左側面図



正面図（オプション装着時）



左側面図（オプション装着時）



単位:mm

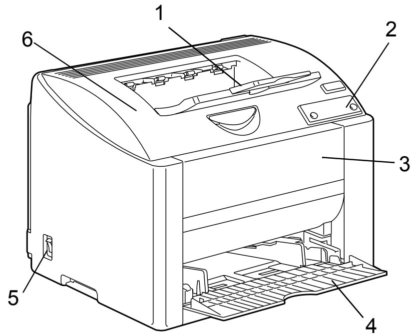
上記イラストの網掛け部はオプションです。

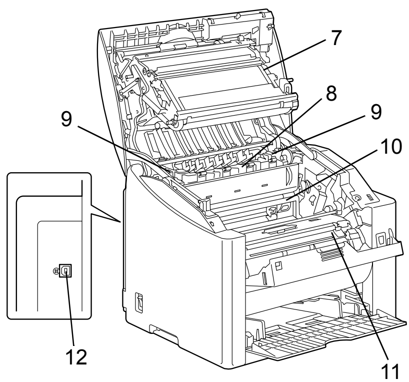
各部の名称

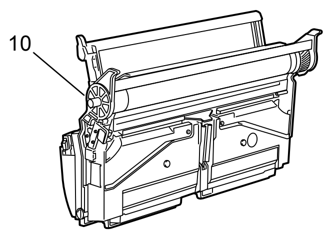
以下の図は、本書で使用しているプリンタ各部の名称を示しています。

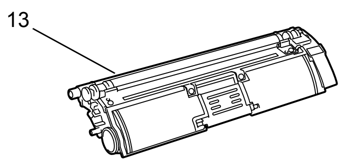
前面

1 排紙トレイ
2 操作パネル
3 前ドア
4 トレイ 1（多目的トレイ）
5 電源スイッチ
6 トップカバー
7 転写ベルト
8 定着ユニット
9 定着離間レバー
10 ドラムカートリッジ
11 トナーカートリッジラック
12 USB ポート
13 トナーカートリッジ



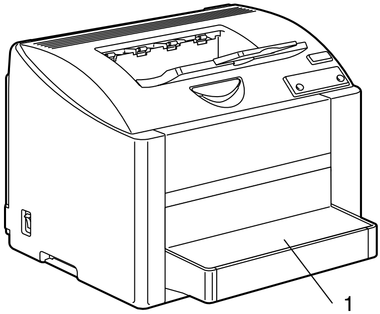




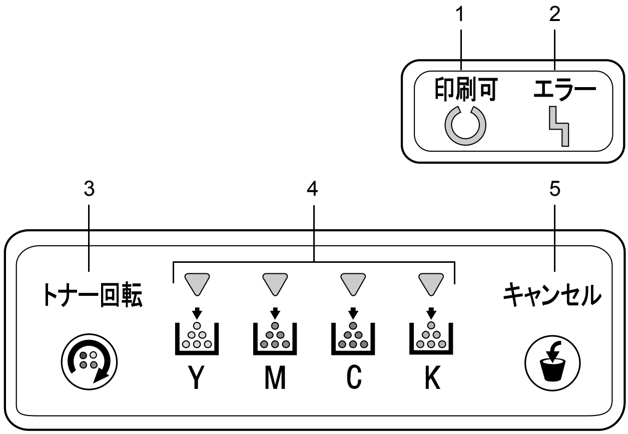


前面（オプション装着時）

1　ダストカバー



操作パネルについて



1［印刷可］ランプ

2［エラー］ランプ

3［トナー回転］キー

4［トナー］ランプ

5［キャンセル］キー

ランプについて

ランプには以下の5種類の光りかたがあります。

- オフ
- 点灯
- ゆっくり点滅：2秒に1回点滅
- 点滅：1秒に1回点滅
- すばやく点滅：1秒に2回点滅

ステータスメッセージ（[印刷可] ランプ、[エラー] ランプ）

ステータスメッセージは現在のプリンタの状況を示すメッセージです。プリンタの状況は、ステータスディスプレイでも確認できます。ステータスディスプレイについて詳しくは、「ステータスディスプレイの使いかた」（p.26）をごらんください。

[印刷可] ランプ（緑）	[エラー] ランプ（オレンジ）	状況	処置のしかた
オフ	オフ	電源がオフになっている	なし
点灯	オフ	印刷可能状態	なし
すばやく点滅	オフ	ウォームアップ中	なし
		キャリブレーション中	
点滅	オフ	データの処理中	なし
		印刷中	
点灯	点灯	初期化中（電源投入時）	なし
		印刷ジョブのキャンセル中	
ゆっくり点滅	オフ	節電モードの状態	なし
点灯	ゆっくり点滅	ドラムカートリッジがまもなく寿命になる	新しいドラムカートリッジを用意してください。
点灯	点滅	ドラムカートリッジが寿命になった	ドラムカートリッジを交換してください。

ステータスメッセージ（[トナー］ランプ）

トナーの残量は、ステータスディスプレイでも確認できます。ステータスディスプレイについて詳しくは、「ステータスディスプレイの使いかた」（p.26）をごらんください。

［トナー］ランプ（オレンジ）	状況	処置のしかた
ゆっくり点滅	該当する色のトナーがまもなくなくなる	新しいトナーカートリッジを用意してください。
点灯	該当する色のトナーがなくなった	トナーカートリッジを交換してください。

［トナー］ランプ（オレンジ）	［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	状況	処置のしかた
すばやく点滅	点灯	すばやく点滅	純正ではないトナーカートリッジがセットされている	KONICA MINOLTA 純正のトナーカートリッジを取り付けてください。

［トナー回転］キーについて

［トナー回転］キーを 1 回押すと、シアンのトナーカートリッジが交換位置に停止し、交換可能な状態になります。その後［トナー回転］キーを 1 回押すごとにブラック、イエロー、マゼンタの順に交換位置に停止します。

トナーカートリッジの交換については「トナーカートリッジの交換手順」（p.56）をごらんください。

［キャンセル］キーについて

［キャンセル］キーを使用して次のことができます。

■ エラーメッセージが表示された後にプリントジョブを継続する

■ プリントジョブをキャンセルする

■ トナーカートリッジを交換した後に印刷可能状態に戻る

トナーカートリッジ交換後の復帰方法については「トナーカートリッジの交換手順」（p.56）をごらんください。

■ 手動両面印刷時に裏面の印刷を開始する

手動両面印刷については「手動両面印刷の方法」（p.51）をごらんください。

エラーメッセージが表示された後にプリントジョブを継続する

以下の種類のエラーを解除した後にプリントジョブを続けることができます。

- 給紙トレイの用紙がなくなった場合
- プリンタドライバで設定された用紙と異なる用紙がプリンタへ給紙された場合

エラーメッセージについて詳しくは、「ランプによるメッセージ」（p.77）をごらんください。

1 上記のエラーが発生していないかどうか確認します。

2 発生したエラーに対して処置を行います。

3 ［キャンセル］キーを押します（5 秒以内）。
プリントジョブが継続されます。

プリントジョブのキャンセル

現在処理中のプリントジョブをキャンセルすることができます。

1 データの処理中または印刷中に（緑の［印刷可］ランプ点滅中に）、［キャンセル］キーを 5 秒以上押し続けます。

2 ［印刷可］ランプと［エラー］ランプが両方とも点灯したら［キャンセル］キーから手を離します。
これで現在処理中のプリントジョブがキャンセルされます。

ソフトウェアについて

2

付属の CD-ROM について

プリンタドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ （Windows XP/2000 用）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する」（p.14）をごらんください。
プリンタドライバ （Windows Me/98SE 用）	

ユーティリティ

ユーティリティ	機能
ステータスディスプレイ	ステータスディスプレイでは、消耗品、エラー情報など、本プリンタの現在の状況を確認できます。 詳しくは、「ステータスディスプレイの使いかた」（p.26）をごらんください。

必要なシステム

- コンピュータ：
  Celeron 333 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機
- オペレーティングシステム：
  - Microsoft Windows XP Home Edition/Professional, Windows 2000 Professional, Windows Me, Windows 98SE

  64bit ドライバは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載の Intel Pentium 4 が稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。
- 空きハードディスク容量：
  - 約 128 MB（プリンタドライバとステータスディスプレイ）
  - 約 128 MB（画像処理）
- メモリ：
  OS が推奨する以上
- CD-ROM/DVD ドライブ
- インターフェース：
  - USB 2.0 準拠インターフェースポート

  USB1.1 で接続した場合、まれに 2400 × 600 dpi の解像度で印刷ができない場合があります。
  解像度が 2400 × 600 dpi での印刷は USB2.0 インターフェースでサポートしています。

本プリンタは共有プリンタとしての使用はできません。

プリンタドライバの初期設定

プリンタを使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。

プリンタドライバのインストールについては「magicolor 2400W インストレーションガイド」をごらんください。

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

– Windows XP の場合

［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2400W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2400W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows Me/98SE の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2400W」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。プロパティ画面で「プリンタプロパティ」タブをクリックします。

2 「セットアップ」、「用紙」、「品質」タブをクリックします。
使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を変更します。

各タブの設定項目については「プリンタドライバの使いかた」（p.15）をごらんください。

3 各初期設定を変更したら、［適用］をクリックします。

4 ［OK］をクリックし、プリンタの設定画面を閉じます。

プリンタドライバのアンインストール

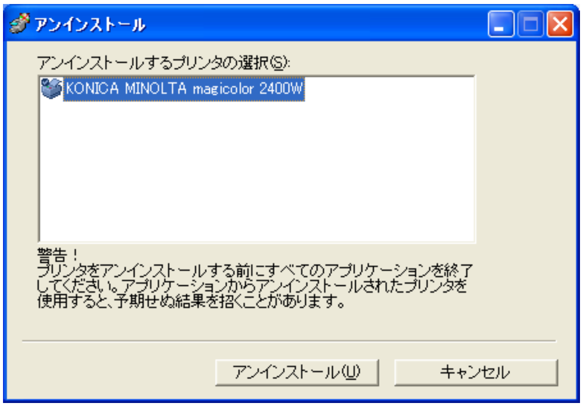
ここでは、magicolor 2400W プリンタドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

プリンタドライバのアンインストールは、管理者権限を持つユーザーのみが実行できます。

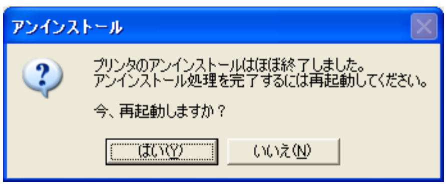
プリンタドライバのアンインストール

1 ［スタート］メニューから「プログラム」（Windows XP :「すべてのプログラム」）—「KONICA MINOLTA magicolor 2400W ユーティリティ」を選択し、「KONICA MINOLTA magicolor 2400W アンインストール」をクリックします。

2 アンインストール画面で「KONICA MINOLTA magicolor 2400W」を選択し、［アンインストール］をクリックします。



3 下図のような画面が表示されたら、［はい］をクリックしてコンピュータを再起動ます。



プリンタドライバ設定画面を表示する

Windows XP

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 2400W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000/Me/98SE

1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

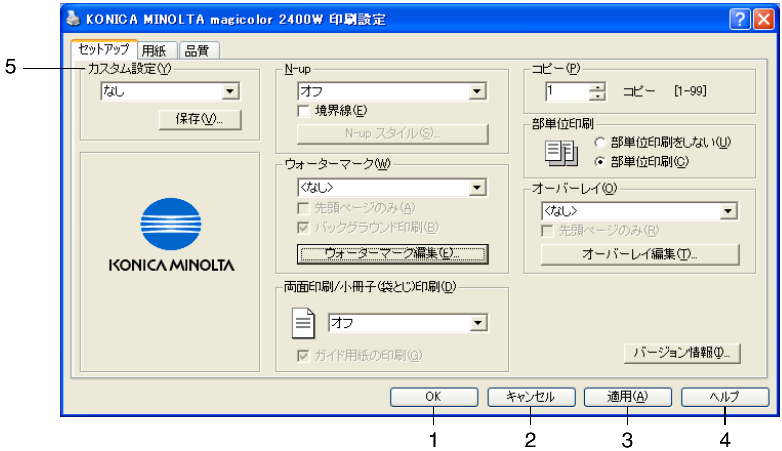
2 以下の操作で、プリンタドライバ設定画面を表示します。

- **Windows 2000 の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 2400W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。
- **Windows Me/98SE の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 2400W」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。プロパティ画面で「プリンタプロパティ」タブをクリックします。

プリンタドライバの使いかた

管理者権限（Administrators グループ）以外のユーザー権限（Power Users/Users など）で使用する場合、管理者権限でプリンタドライバをインストール後、すべてのタブを開いてください。この手順を行わないと、タブ内の設定項目が正しく表示されません。

各画面で共通のボタン



1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

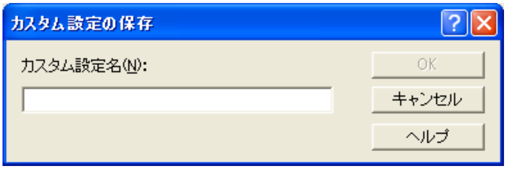
このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

4. ヘルプ

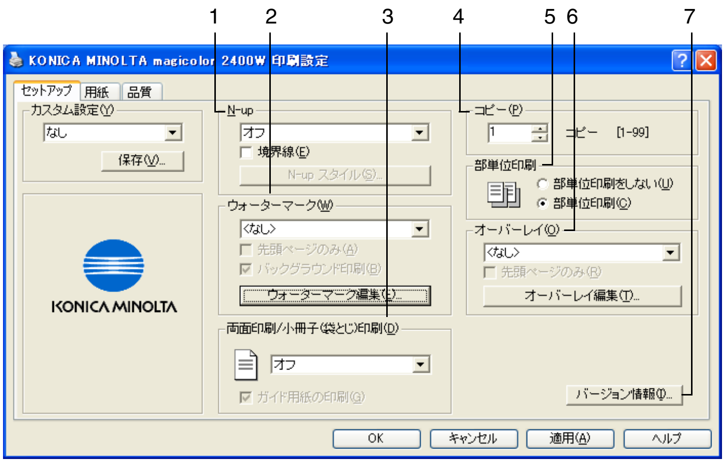
このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. カスタム設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると下の画面が表示されます。名前を入力し、［OK］をクリックして現在の設定を保存します。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。
ドロップダウンリストで「既定値（デフォルト）」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。



「セットアップ」タブ



「セットアップ」タブの画面では、以下の操作が可能です。

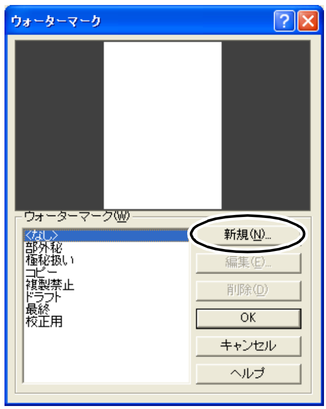
1. N-up

複数のページをまとめて 1 ページに印刷する機能です。
（設定範囲：0（オフ）～ 16）
「境界線」チェックボックスをチェックすると、各ページの間に境界線を入れて印刷できます。
また、［N-up スタイル］をクリックすると、右の画面が表示されます。用紙内のページの並べ方を選択できます。

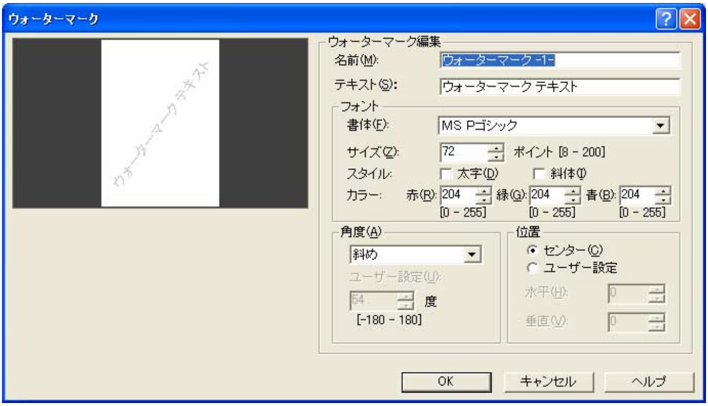


2. ウォーターマーク

印刷する文書に「部外秘」などのテキストを入れて印刷する機能です。
「先頭ページのみ」チェックボックスをチェックすると、印刷する文書の 1 枚目のみウォーターマークが印刷されます。
「バックグラウンド印刷」チェックボックスをチェックすると、印刷する文書のバックにウォーターマークが印刷されます。
［ウォーターマーク編集］をクリックすると、ウォーターマーク画面が表示されます。登録してあるウォーターマークを選択できます。登録してあるウォーターマークを選択すると、［編集］ボタン、［削除］ボタンが有効になり、ウォーターマークの編集、削除ができます。



また、[新規] をクリックすると、下の画面が表示されます。新たにウォーターマークを作成できます。



3. 両面印刷／小冊子（袋とじ）印刷

両面印刷の設定をする機能です。
ドロップダウンリストから両面印刷の種類を選択できます。両面印刷については、「手動両面印刷」（p.51）をごらんください。
「ガイド用紙の印刷」チェックボックスにチェックを入れ印刷を開始すると、1 枚目に手動両面印刷用のガイド用紙が印刷されます。

4. コピー

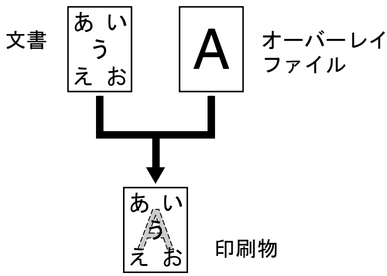
印刷部数を設定できます。

5. 部単位印刷

複数部印刷する場合に部単位で印刷するかしないかを選択します。

6. オーバーレイ

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷する機能です。

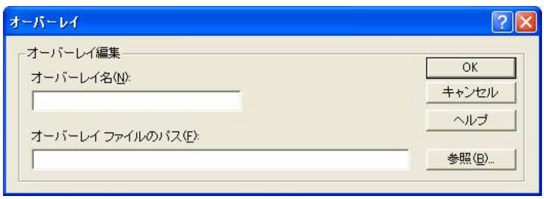


「先頭ページのみ」チェックボックスをチェックすると、印刷する文書の 1 枚目のみオーバーレイが印刷されます。



[オーバーレイ編集] をクリックすると、オーバーレイ画面が表示されます。登録してあるオーバーレイを選択できます。登録してあるオーバーレイを選択すると、[編集] ボタン、[削除] ボタンが有効になり、オーバーレイの編集、削除ができます。

また、[追加] をクリックすると、下の画面が表示されます。オーバーレイファイルを追加できます。



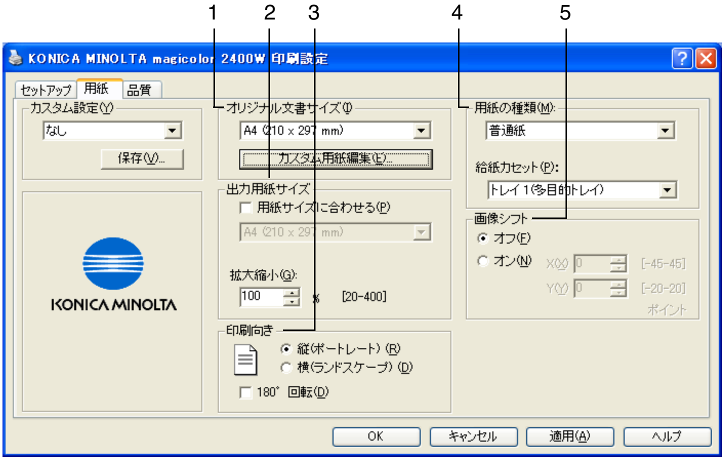
オーバーレイファイル（*.prn）は magicolor 2400W のプリンタドライバで書き出したものを使用してください。

7. バージョン情報

プリンタドライバに関する情報を確認できます。
ボタンをクリックすると、右の画面が表示されます。



「用紙」タブ

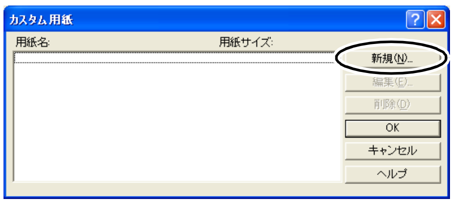


「用紙」タブの画面では、以下の操作が可能です。

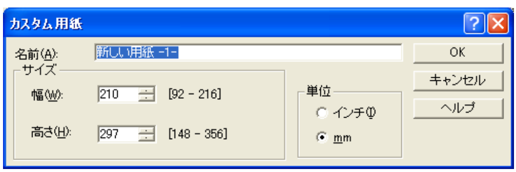
1. オリジナル文書サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。

［カスタム用紙編集］をクリックすると、カスタム用紙画面が表示されます。登録してあるカスタムサイズの用紙を選択できます。登録してあるカスタム用紙を選択すると、［編集］ボタン、［削除］ボタンが有効になり、カスタム用紙の編集、削除ができます。



また、［新規］をクリックすると、下の画面が表示されます。新たにカスタムサイズの用紙を登録できます。



2. 出力用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
印刷する用紙のサイズにあわせる場合は、「用紙サイズに合わせる」チェックボックスをチェックし、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択して設定します。
表示される用紙サイズについては「使用できる出力用紙サイズ」（p.32）をごらんください。
「拡大縮小」は、印刷する文書の倍率を設定します。「用紙サイズに合わせる」チェックボックスがチェックされていない場合のみ設定できます。

3. 印刷向き

印刷の向きを「縦（ポートレート）」または、「横（ランドスケープ）」から選択して設定します。
「180° 回転」チェックボックスにチェックすると、印刷する画像が 180° 回転して印刷されます。

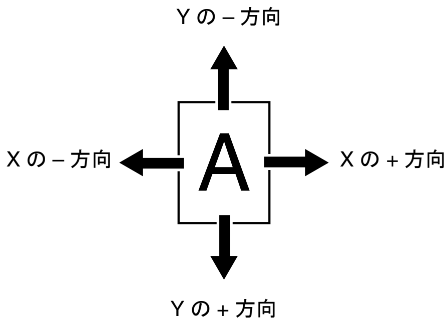
4. 用紙の種類

用紙種類の設定をします。ドロップダウンリストから選択して設定します。

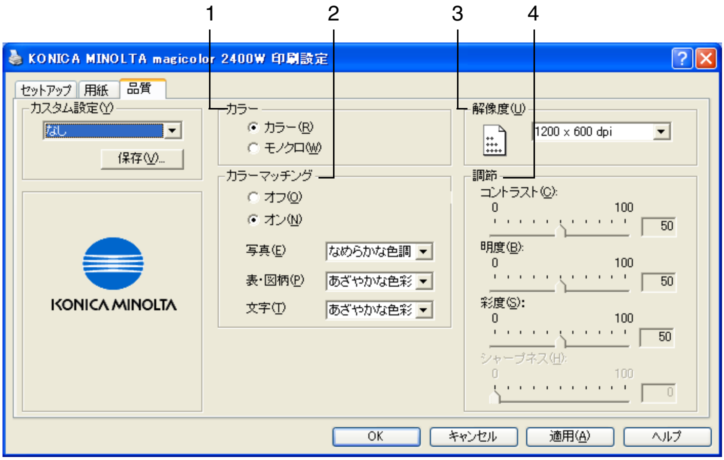
5. 画像シフト

用紙に印刷されるデータの位置を設定する機能です。
データの位置を調整する場合は、「オン」チェックボックスをチェックし、数値を入力（選択）して印刷されるデータの位置を調整します。
画像が移動する方向は右図を参照してください。

1 ポイントは
約 0.35 mm です。



「品質」タブ



「品質」タブの画面では、以下の操作が可能です。

1. カラー

カラー印刷とモノクロ印刷の切り替えをします。

2. カラーマッチング

モニター上の色合いを忠実に表現するために、プリンタの色合いを調整するカラーマッチング機能を使用するかどうかを指定します。
「オン」に設定しているときに、写真（イメージ）、表・図柄（グラフィックス）、文字（テキスト）に対して、それぞれ、「なめらかな色調」、「測色的に一致」、「あざやかな色彩」の設定の中から 1 つを選択できます。

「なめらかな色調」は、写真画像に適した設定です。この設定では濃淡変化になるべく段差を生じない、滑らかな画像表現を行います。
「測色的に一致」は、オリジナル画像の色合いに近い色合いを再現するのに適した設定です。ただしモニター上での色が鮮やかでプリンタでは表現できないような色の場合、その色に最も近いプリンタで再現できる色に全て置き換えられますので、その部分の色の違いは表現できません。
「あざやかな色彩」は、ビジネスプレゼンテーション等の用途に適した設定です。この設定では、なるべく鮮やかな色合いになるように画像が表現されます。

「オフ」に設定している場合は、カラーマッチングを使用しません。

DTP アプリケーション等ではアプリケーション側でプリンタに最適なデータとなるようにカラーマッチングを行い、プリンタにデータを送れるものがあります。アプリケーション側でこのような出力設定がされている場合は、プリンタのカラーマッチングを「オフ」に設定してください。

3. 解像度

印刷時の解像度を設定します。

4. 調節

印刷する画像のトーン（コントラスト)、明るさ（明度)、色合い（彩度)、鮮明度（シャープネス）を設定します。
「シャープネス」はカラーマッチングをオフにした時のみ調整できます。

3

ステータスディスプレイの使いかた

ステータスディスプレイの使いかた

ステータスディスプレイでは、現在のプリンタの状況（消耗品など）の確認や、節電モードに入るまでの時間などの設定ができます。

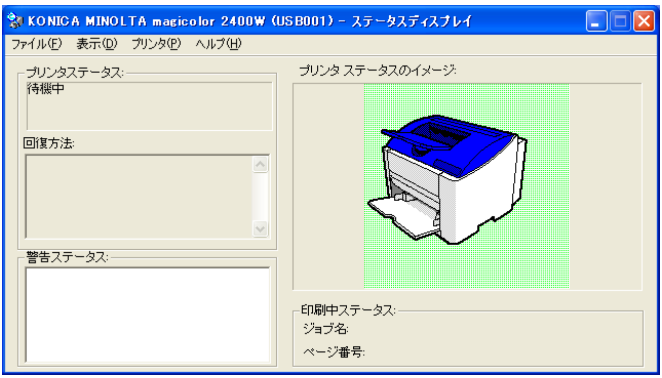
ステータスディスプレイは、管理者権限を持つユーザーのみが使用できます。

ステータスディスプレイを開く

以下の操作でステータスディスプレイを開きます。

- **Windows XP の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA magicolor 2400W ユーティリティ」を選択し、「KONICA MINOLTA magicolor 2400W ステータスディスプレイ」をクリックします。
- **Windows 2000/Me/98SE の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA magicolor 2400W ユーティリティ」を選択し、「KONICA MINOLTA magicolor 2400W ステータスディスプレイ」をクリックします。

ステータスディスプレイの使いかた



- ステータスディスプレイ右側にあるプリンタの図の背景が緑色のときは、プリンタが待機状態であるか、問題なく印刷処理が行われている状態です。
- ステータスディスプレイ右側にあるプリンタの図の背景が赤色、または黄色のときは、何らかのエラーが発生し、プリントジョブが中断されている状態です。このとき、プリンタの状態とエラーメッセージが画面左側に表示されます。

ステータスディスプレイの機能は以下のとおりです。

■ **プリンタステータス**：プリンタの現在の状態を示すメッセージが表示されます。

■ **回復方法**：問題を解決し、エラー状態から復帰するために必要な情報が表示されます。

■ **警告ステータス**：注意が必要な状態（例：トナーの交換時期が近い）を知らせるメッセージが表示されます。

■ **プリンタステータスのイメージ**：プリンタの状態を示す図が表示され、エラーが発生したとき、問題のある場所が示されます。

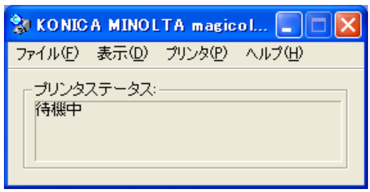
■ **印刷中ステータス**：処理中のプリントジョブの状態が表示されます。

ファイルメニュー

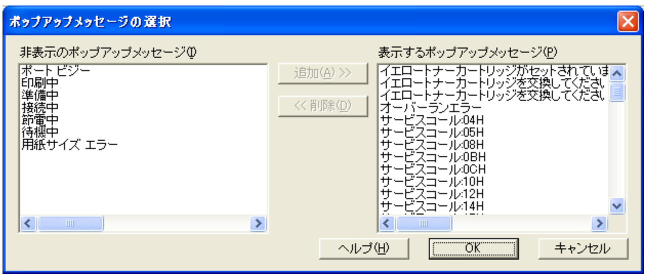
■ **終了**：ステータスディスプレイを終了します。

表示メニュー

■ **縮小／拡大**：「縮小」を選択すると、画面サイズが小さくなり、プリンタステータスのみ表示されます。「拡大」を選択すると画面サイズが大きくなり、プリンタステータス以外の情報も表示されます。



■ **ポップアップメッセージの選択**：プリンタの状態の中で、どの状態をポップアップ表示させるかを指定することができます。



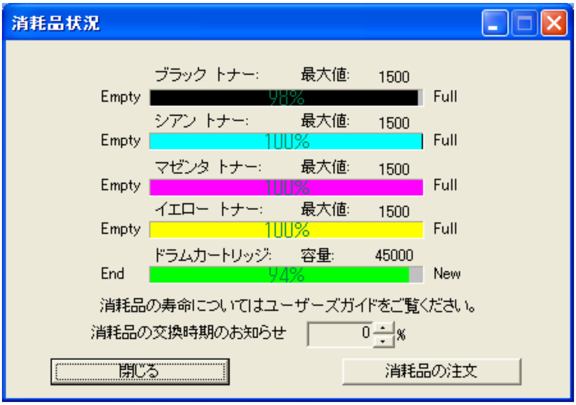
■ **プリンタ選択**：1 台のコンピュータに本プリンタ（magicolor 2400W）を複数台接続している場合に、ステータスディスプレイを表示したいプリンタを選択できます。
また、「起動」チェックボックスにチェックをすると、OS 起動時にステータスディスプレイを自動的に起動させることができます。プリンタドライバをインストールした時には、自動的に起動するように設定されています。自動で起動させたくない場合は、「起動」チェックボックスのチェックをはずしてください。



■ **プリンタ情報**：プリント枚数などの情報を確認できます。



■ **消耗品状況：**各トナーカートリッジの残容量（約何%残っているか）とドラムカートリッジのおおよその寿命が表示されます。



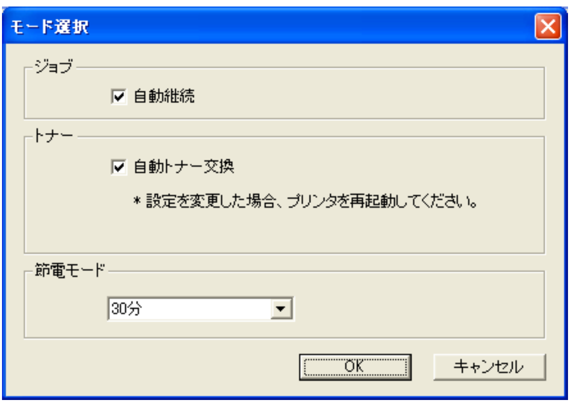
プリンタメニュー

■ **モード選択：**以下の設定が出来ます。

■ ジョブ：「自動継続」チェックボックスにチェックを入れると、プリンタドライバで設定した用紙サイズと、トレイにセットされている用紙のサイズが異なっていても印刷を継続するモードになります。

■ トナー：トナーがなくなった場合に印刷を停止するか、続行するかを設定できます。「自動トナー交換」チェックボックスにチェックを入れると、トナーがなくなった場合、印刷を停止し、トナーが無くなった色のトナーカートリッジが交換位置へと自動的に移動します。本設定を変更した場合は、プリンタを再起動してください。

■ 節電モード：プリンタが節電モードに入るまでの時間を設定できます。



- **電源投入テスト：**AIDC（Auto-Image Density Control）キャリブレーションを実行します。
- **ステータスシートの印刷**：操作パネルのランプが示すステータスメッセージや、エラーメッセージなどのリストを印刷します。
- **コンフィグページの印刷** ：コンフィグレーションページを印刷をします。

ステータスディスプレイの警告の確認

ステータスディスプレイがプリンタの問題を検知すると、タスクバーにあるアイコンが、プリンタの問題の重大度によって、緑色から黄色、赤色に変わります。

ステータスディスプレイの警告の解除

ステータスディスプレイがプリンタに問題の発生を表示しているときに、Windows のタスクバーにあるステータスディスプレイのアイコンをダブルクリックしてステータスディスプレイを開きます。ステータスディスプレイには、発生したエラーの内容が表示されます。

ステータスディスプレイを閉じる

ステータスディスプレイを終了するときは、「ファイル」メニューから「終了」を選択してください。

ステータスディスプレイの画面右上の［×］ボタンをクリックすると、画面は閉じますが、タスクバーの右端に最小化されアイコンとして残ります（終了しません）。アイコンをダブルクリックすると、ステータスディスプレイが再度表示されます。

ステータスディスプレイを閉じた後に再度ステータスディスプレイを開く場合は、5 秒以上待ってから開いてください。

用紙の取り扱い

4

使用できる出力用紙サイズ

本プリンタでは以下の用紙が使用できます。

普通紙・レターヘッド・ラベル紙

用紙サイズ	ミリ（mm）	インチ（in.）
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3
B5（JIS)	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1
Executive	184.0 × 267.0	7.25 × 10.5
Folio	210.0 × 330.0	8.3 × 13.0
Foolscap	203.2 × 330.2	8.0 × 13.0
kai16	185.0 × 260.0	7.3 × 10.2
リーガル	215.9 × 355.6	8.5 × 14.0
ガバメントリーガル	216.0 × 330.0	8.5 × 13.0
レター	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0
レタープラス	215.9 × 322.3	8.5 × 12.7
Statement	140.0 × 216.0	5.5 × 8.5
UK Quarto	203.2 × 254.0	8.0 × 10.0
カスタムサイズ（最小値）	92.0 × 198.0	3.6 × 7.8
カスタムサイズ（最大値）	216.0 × 356.0	8.5 × 14.0

カスタムサイズは上の表の数値の範囲でプリンタドライバから設定してください。

はがき

用紙サイズ	ミリ（mm）	インチ（in.）
官製ハガキ	100.0 × 148.0	3.9 × 5.8

封筒

用紙サイズ	ミリ（mm）	インチ（in.）
封筒 B5（ISO）	176.0 × 250.0	6.9 × 9.8
Envelope C5	162.0 × 229.0	6.4 × 9.0
封筒 洋形 2 号	114.0 × 162.0	4.5 × 6.4
Envelope #10	104.1 × 241.3	4.1 × 9.5

用紙サイズ	ミリ（mm）	インチ（in.）
Envelope DL	110.0 × 220.0	4.3 × 8.7
封筒 洋形 6 号	99.0 × 190.5	3.9 × 7.5

厚紙・OHP フィルム・光沢紙

用紙サイズ	ミリ（mm）	インチ（in.）
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3
B5（JIS)	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1
Executive	184.0 × 267.0	7.25 × 10.5
kai16	185.0 × 260.0	7.3 × 10.2
kai 32	130.0 × 185.0	5.1 × 7.3
レター	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0
Statement	140.0 × 216.0	5.5 × 8.5
UK Quarto	203.2 × 254.0	8.0 × 10.0
カスタムサイズ（最小値）	92.0 × 184.0	3.6 × 7.2
カスタムサイズ（最大値）	216.0 × 297.0	8.5 × 11.7

カスタムサイズは上の表の数値の範囲でプリンタドライバから設定してください。

用紙種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

本プリンタで利用できる用紙の種類は printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

普通紙

容量	**トレイ 1**	200 枚（用紙の厚さによって変わります）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	普通紙	
坪量	60 ～ 90 g/m²	

以下の用紙を使用してください。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンタ対応の普通紙

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、プリンタの故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、デジタル光沢紙、カラー加工された紙など）
- カーボン紙
- 感熱紙、熱転写用紙
- 水転写用紙
- 感圧紙
- インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）
- 一度印刷に使用した用紙
  ・インクジェットプリンタで印刷された用紙
  ・モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
  ・熱転写プリンタで印刷された用紙
  ・他のプリンタやファクス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙
  湿度が 35% ～ 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 重なっている用紙
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m² より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	厚紙（91 ～ 163 g/m²）	
坪量	91 ～ 163 g/m²	

以下のような使いかたはしないでください。

■ 給紙トレイの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

容量	**トレイ 1**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	封筒	
坪量	91 ～ 163 g/m²	

以下の封筒を使用してください。

■ 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

■ レーザープリンタ対応の封筒

■ 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒

■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒

■ 窓付きの封筒

- 表面が粗い和紙などの封筒
- 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒
- すでにのりでとじられている封筒

ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

- 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。
- 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙にも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ラベル用紙	
坪量	60 ～ 163 g/m²	

以下のラベル紙を使用してください。

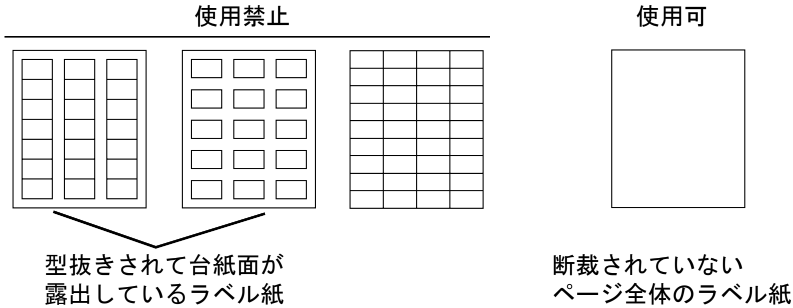
- レーザープリンタ用ラベル紙

以下のようなラベル紙は使用しないでください。

- はがれやすいラベル紙
- 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル紙



レターヘッド

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	200 枚（用紙のサイズや厚さによって変わります）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	レターヘッド	
坪量	60 ～ 90 g/m²	

はがき

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	官製ハガキ	
坪量	60 ～ 163 g/m²	

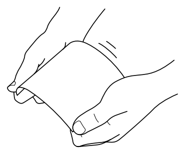
以下のはがきを使用してください。

- 官製はがき（100 × 148 mm）
  （市販のはがきには、使用できないものがあります。）

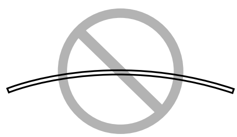
以下のようなはがきは使用しないでください。

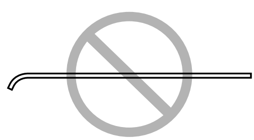
- 光沢のあるもの
- 曲がっているもの
- インクジェットプリンタ用のもの
- 切り込みやミシン目のあるもの
- すでに印刷されているもの、色加工されているもの
  （はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

はがきが曲がっているときは、トレイ 1 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。



- 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの





OHP フィルム

セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。静電気が発生し、印刷時のエラーの原因になります。

一度に多くの OHP フィルムをセットしないでください。また、OHP フィルムの表面を手で触わると、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。

通紙部は清潔に保ってください。OHP フィルムは通紙部の汚れの影響を大きく受けてしまいます。用紙の先端／後端に影がみられる場合は、「メンテナンス」（p.65）をごらんください。

静電気が起きないように、印刷後すぐに OHP フィルムを排紙トレイから取り除いてください。

OHP フィルムも連続印刷することができますが、用紙の質、静電気の発生、印刷環境によって、うまく給紙できない場合があります。一度に多くの OHP フィルムをセットして問題がある場合は、10 枚以下の用紙をセットしてください。

一度に多くの OHP フィルムをセットすると、静電気が発生し、給紙トラブルの原因になります。

お使いのアプリケーションにしたがって OHP フィルム用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	OHP フィルム	

以下の OHP フィルムを使用してください。

- レーザープリンタ用 OHP フィルム

以下のような OHP フィルムは使用しないでください。

- 静電気が発生し、互いにくっつくもの
- インクジェットプリンタ用のもの

光沢紙

あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	光沢紙	

以下のような使いかたはしないでください。

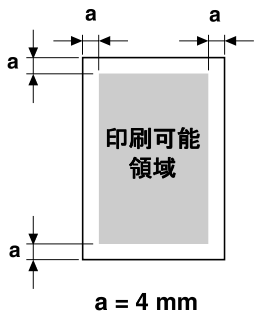
- 給紙トレイの中で光沢紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

印刷可能領域

印刷保証範囲と印刷可能範囲は？

すべての用紙サイズで、用紙の端から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

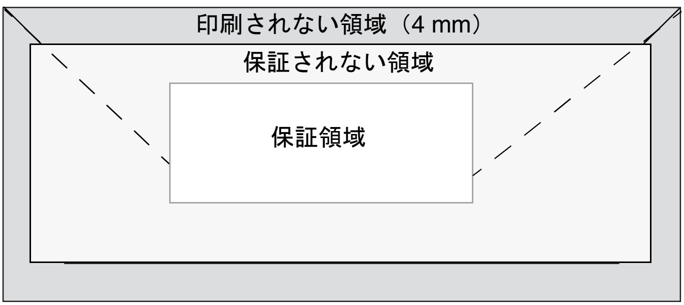


リーガルサイズの用紙にカラー印刷する場合は、用紙の後端の余白が 17 mm になります。

封筒の印刷保証領域

封筒では、封の部分は印刷保証外です。また、印刷保証外領域は封筒の種類によって異なります。

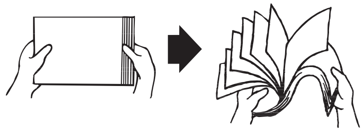
封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。



用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 200 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。





OHP フィルムはさばかないでください。

ご注意

本プリンタは、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。
普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムなど）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したりプリンタの寿命が短くなる場合があります。

用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

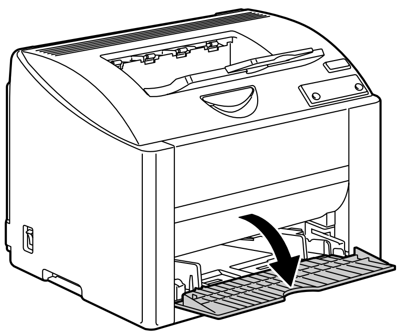
種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

トレイ 1（多目的トレイ）

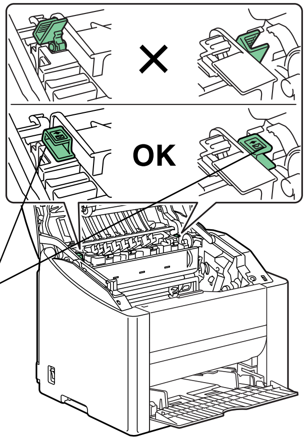
トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる出力用紙サイズ」（p.32）をごらんください。

普通紙の場合

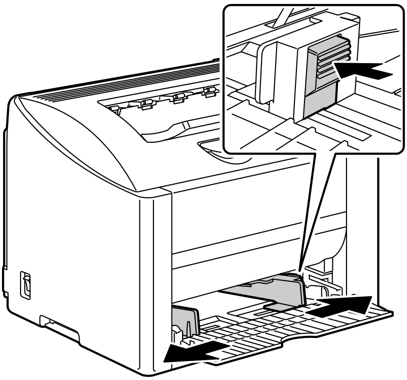
1 トレイ 1 を開きます。



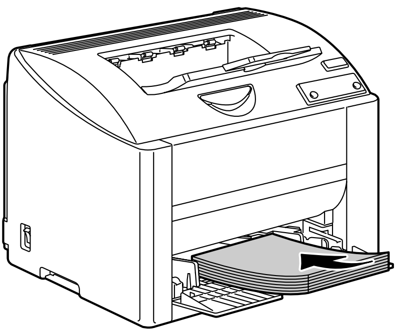
定着離間レバーが通常印刷位置にセットされていることを確認してください。



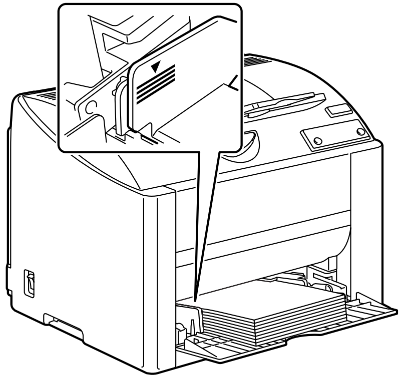
2 用紙ガイドを広げます。



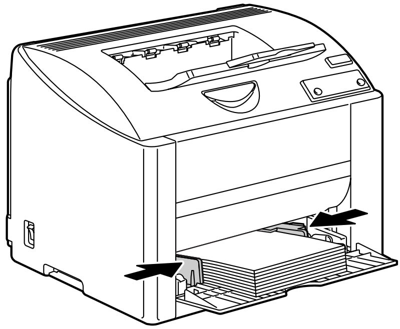
3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。



用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 200 枚（80 g/m^2）までセットできます。



4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

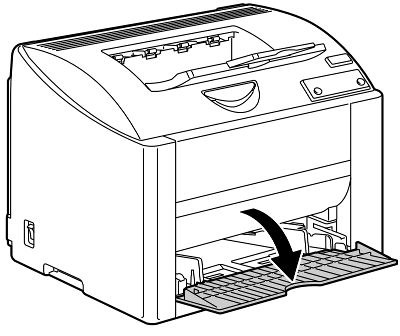


その他の用紙種類の補給

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタドライバの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙、封筒、OHP フィルムなど）

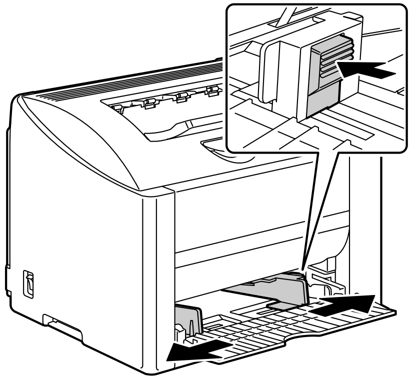
封筒の場合

1 トレイ 1 を開きます。

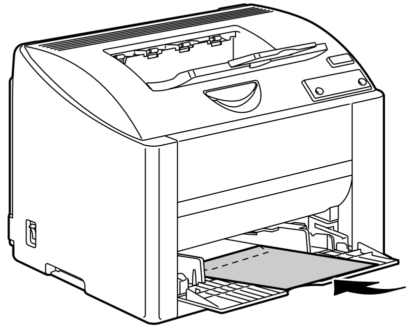


2 トレイにセットされている用紙を取り出します。

3 用紙ガイドを広げます。

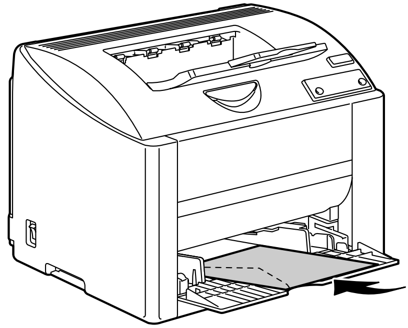


4 フタを下側にして封筒をセットします。



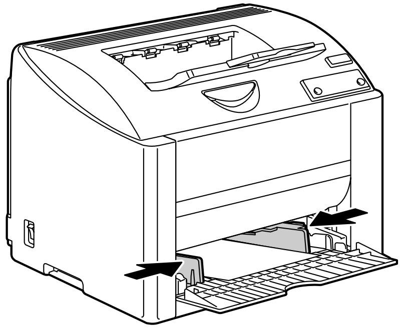
セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。

封筒は一度に 10 枚までセットできます。

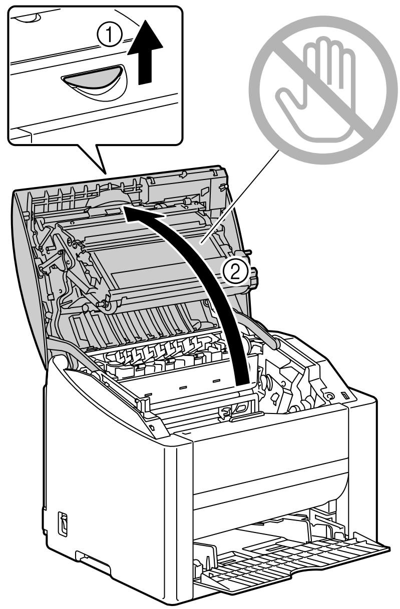


フタが封筒の長辺にある場合はフタを左側にしてセットしてください。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



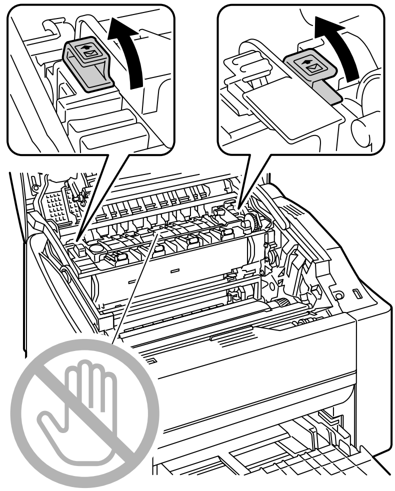
6 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。



排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。

7 定着離間レバーを起します。



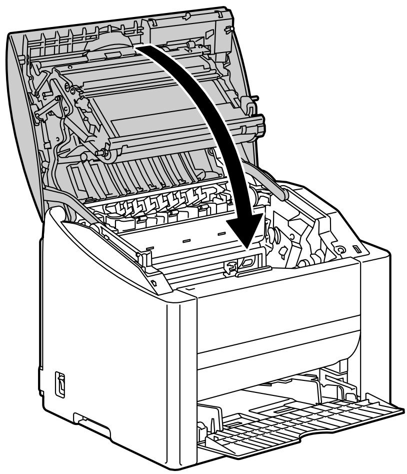
注意

定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



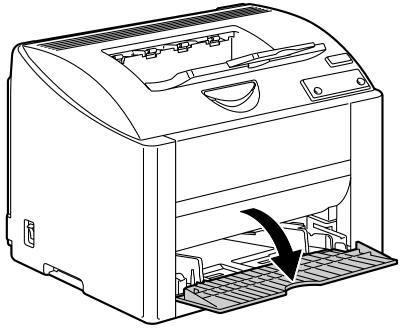
8 トップカバーを静かに閉じます。

封筒以外の用紙に印刷する場合は、定着離間レバーを必ず戻してから印刷してください。

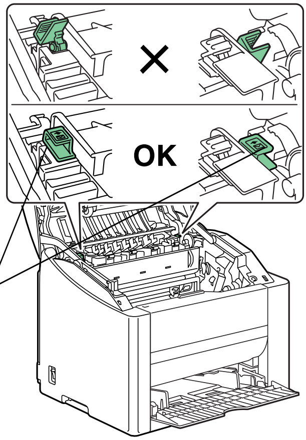


ラベル紙／はがき／厚紙／ OHP フィルム／光沢紙の場合

1 トレイ 1 を開きます。

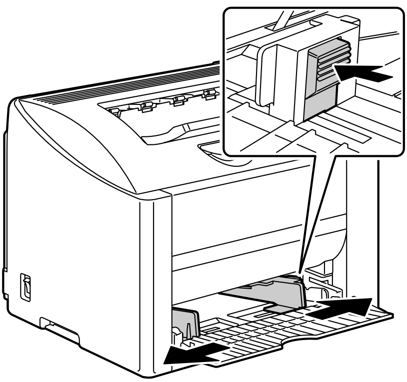


定着離間レバーが通常印刷位置にセットされていることを確認してください。



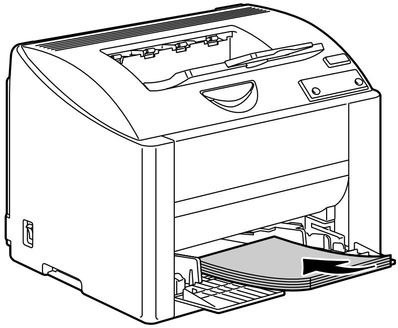
2 トレイにセットされている用紙を取り出します。

3 用紙ガイドを広げます。

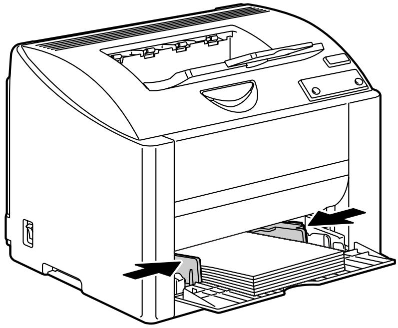


4 印刷面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は一度に 50 枚までセットできます。



5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



手動両面印刷

両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。あらかじめ試し印刷を行い、裏映りの度合いを確認してください。

手動両面印刷に使用できる用紙は、普通紙のみです。他の種類の用紙は使用できません。

手動両面印刷の方法

1 プリンタドライバの設定（「セットアップ」タブの「両面印刷 / 小冊子（袋とじ）印刷」の項目）で、「短辺綴じ」「長辺綴じ」「小冊子左綴じ」「小冊子右綴じ」の中から適切な設定を選択します。

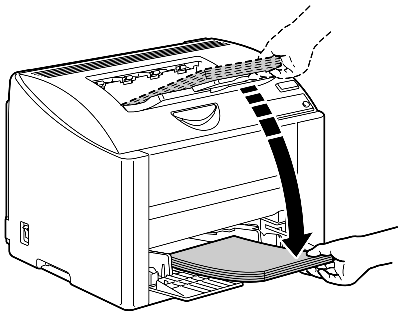
「ガイド用紙の印刷」チェックボックスにチェックを入れ印刷を開始すると、1 枚目に手動両面印刷用のガイド用紙が印刷されます。

2 お使いのソフトウェアの印刷ダイアログで、全ページ印刷を行います。

片面印刷後、トレイ 1 に残っている用紙は取りのぞいてください。

3 排紙トレイに片面印刷された用紙を向きを変えないでそのままトレイ 1 に差し込みます。

排紙トレイから取り出した用紙は、端をそろえ、平らにしてからトレイにセットしてください。用紙の端がそろっていなかったり、平らでない場合は、紙づまりが起こる可能性があります。



4 コンピュータ画面上の［続行］キーをクリックするか、操作パネルの［キャンセル］ボタンを押します（5 秒以下）。
裏面の印刷が開始されます。

裏面印刷時に紙づまりが起こった場合、紙づまり処理後、続きからの印刷はできません。手順 2 からやり直してください。

排紙トレイ

どの用紙もプリンタ上部の排紙トレイに印刷面を下向きにして排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で約 200 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

OHP フィルムの場合は、印刷したらすぐに排紙トレイから取り除いてください。

用紙の保管方法

用紙の保管のしかたは？

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
  包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
  - 湿気が多い場所
  - 直射日光があたる場所
  - 高温の場所（35°C 以上の場所）
  - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

5 消耗品の交換

消耗品の交換のしかた

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されいる手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収の受付など詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジについて

本プリンタではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーがプリンタや手などにこぼれないように注意してください。

トナーは有害なものではありません。トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

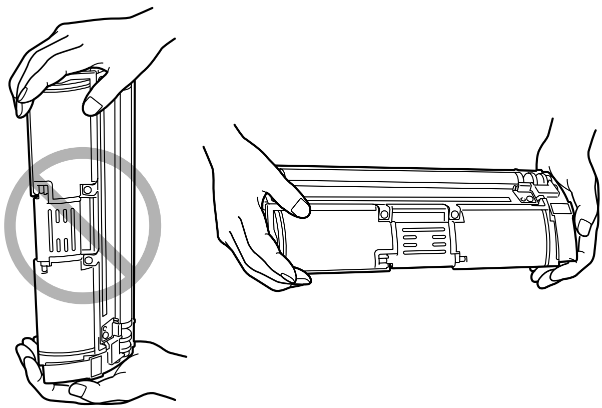
トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。プリンタ製品番号とトナーカートリッジ製品番号はトップカバーを開け、プリンタ内部にあるラベルでご確認ください。

プリンタ製品番号	トナーカートリッジタイプ	トナーカートリッジ製品番号
5250220-300	トナーカートリッジ - イエロー（Y）	1710588-001
	トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	1710588-002
	トナーカートリッジ - シアン（C）	1710588-003
	大容量トナーカートリッジ - ブラック（K）	1710588-004
	大容量トナーカートリッジ - イエロー（Y）	1710588-005
	大容量トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	1710588-006
	大容量トナーカートリッジ - シアン（C）	1710588-007

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

ご注意

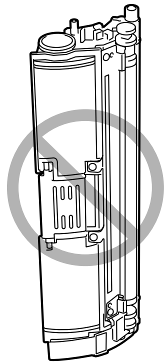
トナーカートリッジを立てて持たないでください。



トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下､湿度 80% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。

■ 水平な状態で保管してください。
トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。



■ 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

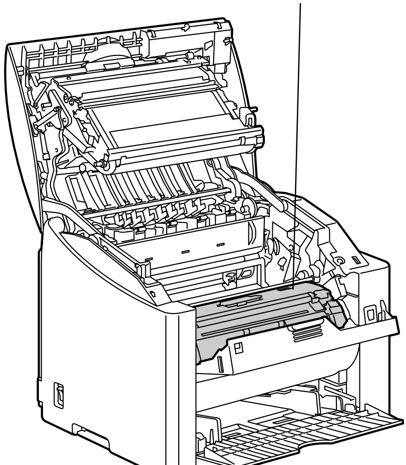
トナーカートリッジの交換手順

ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

トナーがなくなると、該当する色の［トナー］ランプが点灯します。以下の手順にしたがってトナーカートリッジを交換してください。

トナーカートリッジは右図の位置にあります。

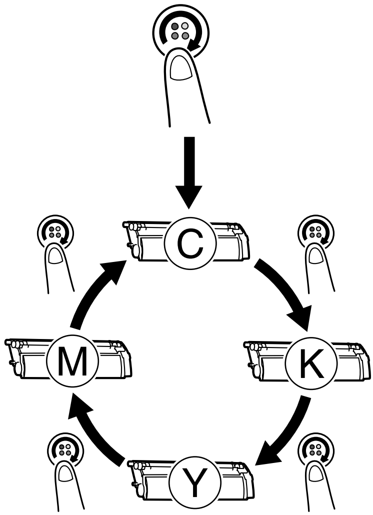


1 操作パネルで、なくなったトナーの色を確認します。
以下の手順ではシアントナーカートリッジを例に説明します。

ステータスディスプレイのモード選択で「自動トナー交換」チェックボックスをチェックしている場合、トナーが無くなると、印刷が止まり、トナーの無くなったトナーカートリッジが自動的に交換位置へ移動します。手順 3 へ進んでください。

2 ［トナー回転］キーを押します。
それまで点灯していたシアントナーのランプがいったんオフになり、トナーカートリッジラックが回転します。シアントナーカートリッジが交換位置に停止すると再度シアントナーのランプが点灯します。

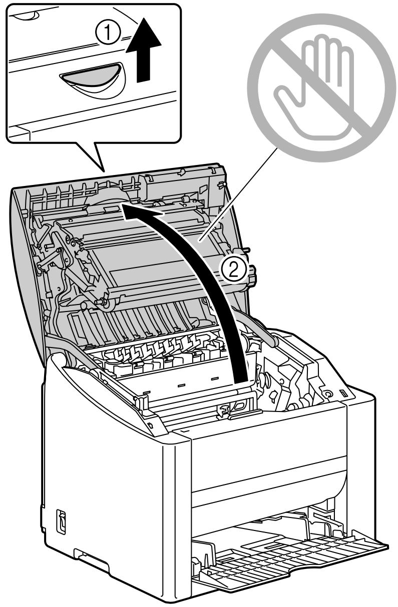
［トナー回転］キーを 1 回押すと、シアンのトナーカートリッジが交換位置に停止します。その後［トナー回転］キーを 1 回押すごとにブラック、イエロー、マゼンタの順に交換位置に停止します。交換位置に移動したトナーのランプが点灯します。



3 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。

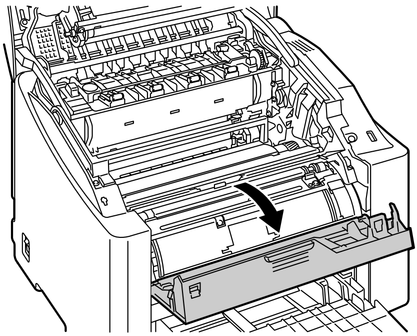
排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。



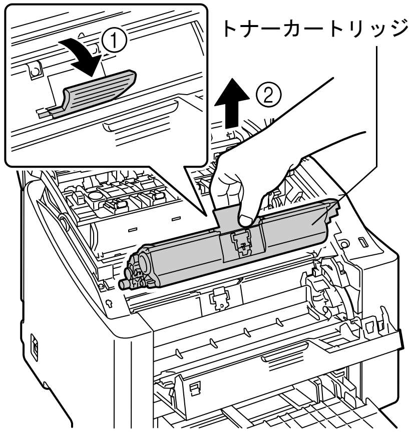
4 交換する色のトナーカートリッジが手前に来ているのを確認し、前ドアを開きます。

トナーカートリッジの色はトナーカートリッジのつまみで確認できます。



5 トナーカートリッジのつまみを手前に倒し（①）、そのまま上に持ち上げてトナーカートリッジを取り外します（②）。

トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。



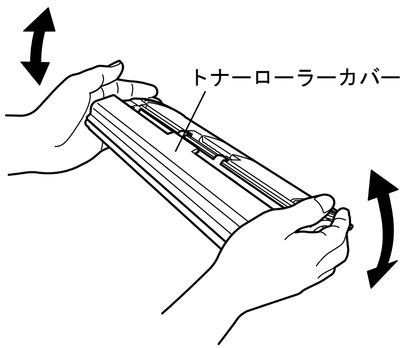
ご注意

使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

6 新しいトナーカートリッジを用意します。

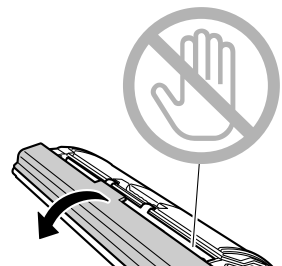
7 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

トナーローラーカバーが装着されていることを確認してから振ってください。



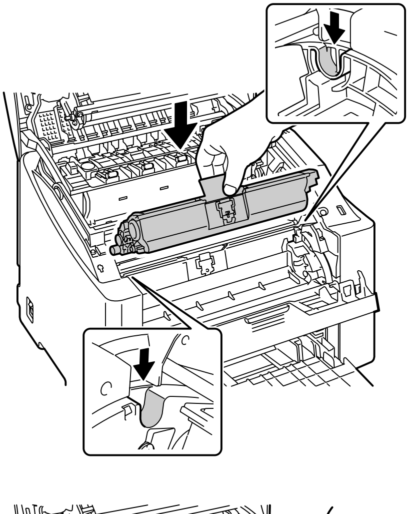
8 トナーローラーカバーを取り外します。

トナーローラーには触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。

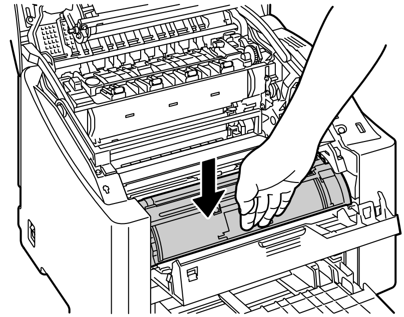


9 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。

トナーカートリッジラックのラベルと、取り付けるトナーカートリッジの色が同じであることを確認してからトナーカートリッジを取り付けてください。

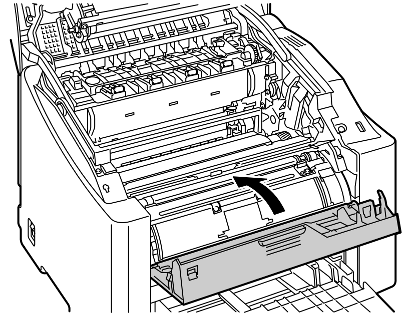


10 トナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。

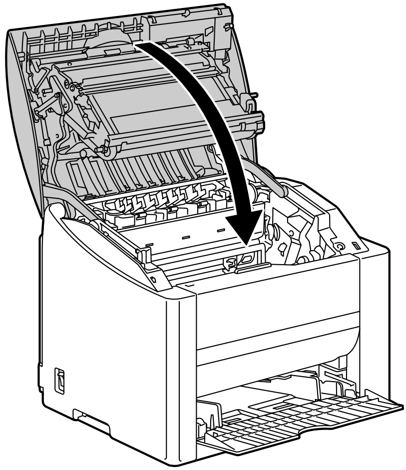


11 前ドアを閉じます。

トップカバーを閉じる前に必ず前ドアを閉じてください。トップカバーを閉じたあとでは、前ドアは閉まりません。



12 トップカバーを静かに閉じます。



トップカバーを閉めると、ブラックのトナーカートリッジが自動的に交換位置へ移動します。
続けて、[トナー回転] キーを 1 回押すごとに、イエロー、マゼンタの順に 1 色ずつ交換位置に停止します。
続けて他のトナーカートリッジを交換する場合は、目的のトナーカートリッジを交換位置へ移動して交換してください。

ステータスディスプレイのモード選択で「自動トナー交換」チェックボックスをチェックしている場合、トナーカートリッジ交換後トップカバーを閉めると、他のトナーの無くなったトナーカートリッジが自動的に交換位置へ移動します。
他にトナーの無くなったトナーカートリッジが無い場合は、ウォームアップを行い、自動的に印刷可能な状態に戻ります。

13 キャンセルキーを押します。
シアントナーのランプがオフになり、印刷可能な状態に戻ります。

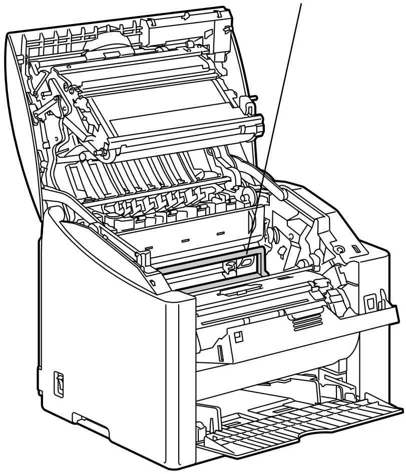
トップカバーを閉めた後、30 秒以上何も操作が無かった場合も自動的に印刷可能な状態に戻ります。

トナーカートリッジ交換後、プリンタはキャリブレーション（2 分未満）を行います。印刷可能な状態になる前にカバーをあけると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉めた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

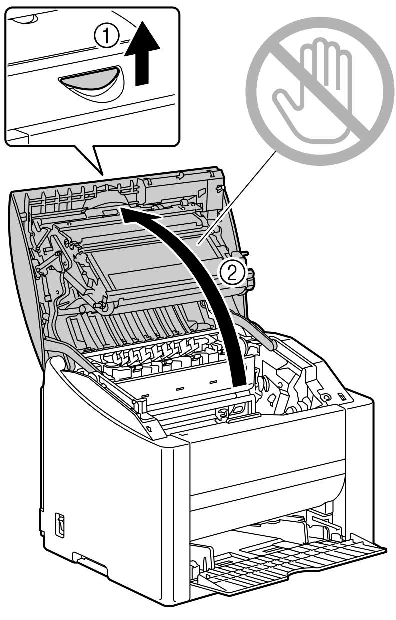
ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジが寿命に達すると、[エラー] ランプが点滅します([印刷可] ランプ点灯時)。以下の手順にしたがってドラムカートリッジを交換してください。

ドラムカートリッジは右図の位置にあります。



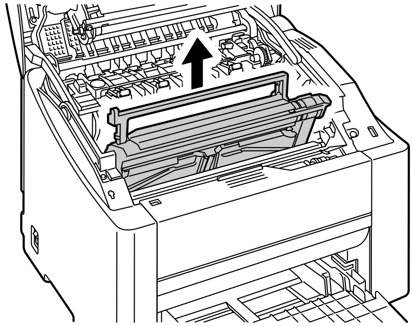
1 レバーを引き(①)、トップカバーを開きます(②)。



排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。

2 緑色の取っ手をつかみ、ゆっくりとドラムカートリッジを引き抜きます。



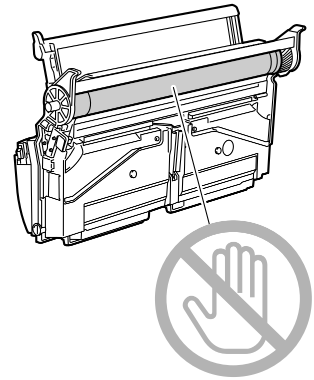
ご注意

使用済みドラムカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

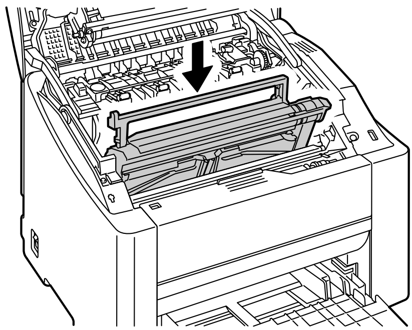
3 新しいドラムカートリッジを用意します。



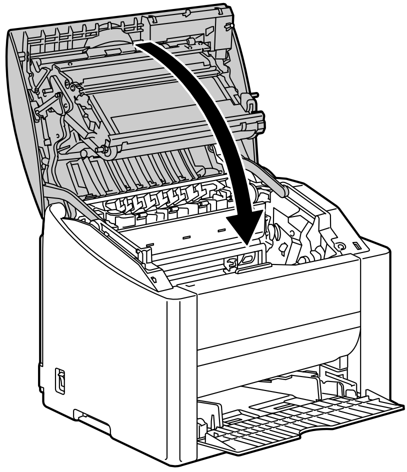
ドラムカートリッジの感光体には触れないように注意してください。



4 新しいドラムカートリッジを取り付けます。



5 トップカバーを静かに閉じます。



ドラムカートリッジ交換後、プリンタはキャリブレーション（2 分未満）を行います。印刷可能な状態になる前にカバーをあけると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉めた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

メンテナンス 6

プリンタのメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルはプリンタのドア内部やプリンタ本体の内部にあります。

プリンタを長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片がプリンタ内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的にプリンタの清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

警告

清掃前には、プリンタの電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
プリンタ内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。プリンタの損傷や感電のおそれがあります。

注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1時間お待ちください）。

- プリンタ内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- プリンタの上に物を置かないでください。
- プリンタの清掃には柔らかい布を使用してください。
- プリンタの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンタのすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- プリンタの清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、プリンタの目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- プリンタの清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- プリンタのカバーはゆっくり閉めて下さい。プリンタに振動を与えないようにしてください。

■ プリンタを使用後すぐにカバーや布などをかけないでください。電源を切り、プリンタの温度が下がるまで待ってください。

■ トップカバーを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってドラムカートリッジが損傷を受ける場合があります。

■ 印刷中はプリンタのトップカバーや前ドアを開けないでください。

■ 用紙をプリンタの上部にあててそろえないでください。

■ プリンタに油をさしたり、分解しないでください。

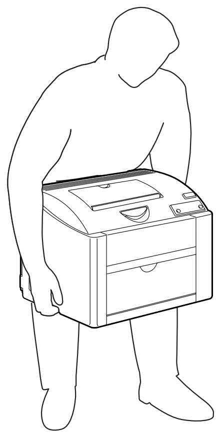
■ プリンタを傾けないでください。

■ 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。プリンタの故障や印刷品質の低下の原因になります。

■ 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。

■ プリンタを移動するときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

■ プリンタを持ち上げるときは、右の図に示す位置を持ってください。



■ トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

■ プリンタの電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

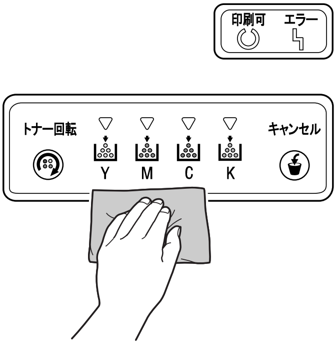
プリンタの清掃

注意

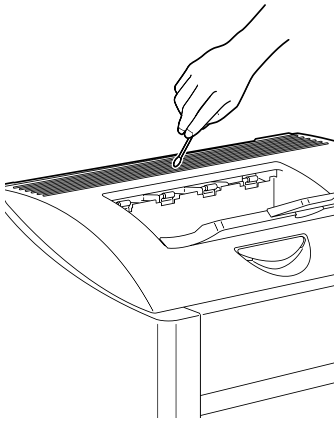
清掃前にはプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してください。

プリンタ外側の清掃

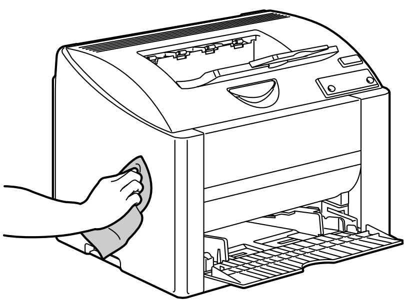
操作パネル



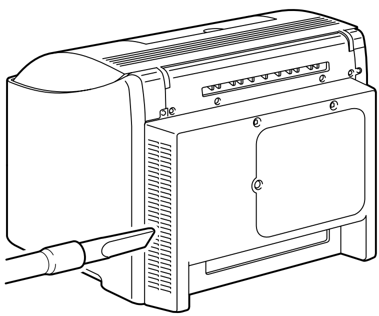
排気ダクト



プリンタの外側



フィルタ



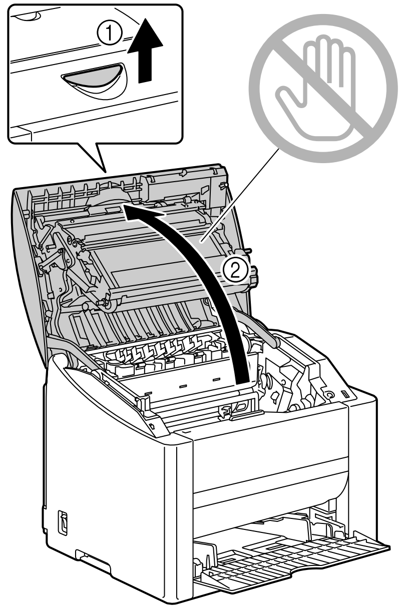
プリンタ内部の清掃

給紙ローラーとレーザーレンズの清掃

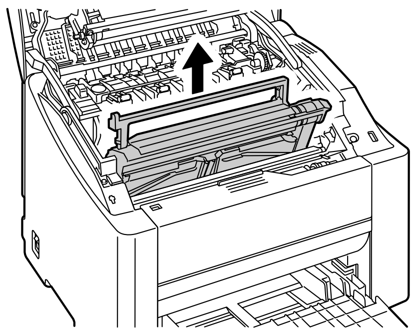
1 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。

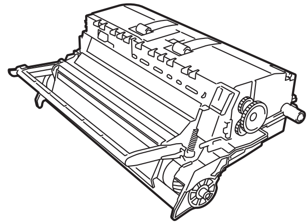


2 緑色の取っ手をつかみ、ゆっくりとドラムカートリッジを引き抜きます。

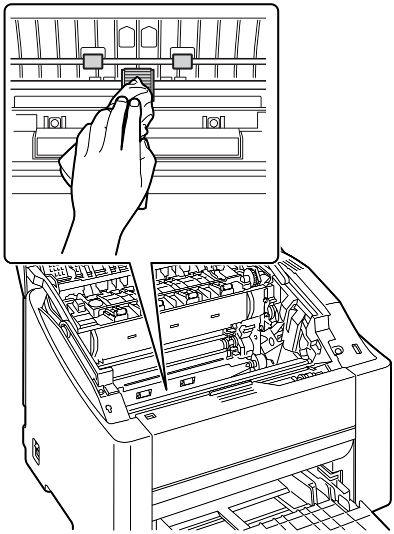


ご注意

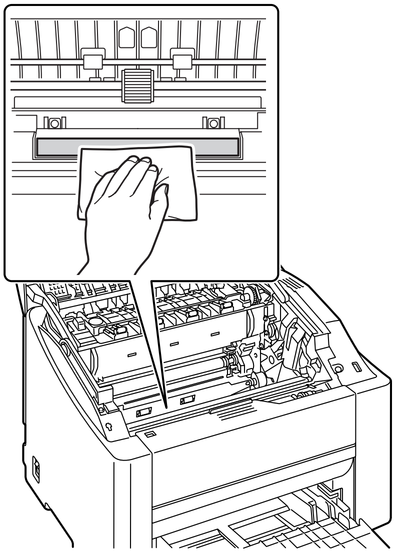
取り外したドラムカートリッジは右図の向きで置いてください。
ドラムカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したドラムカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。



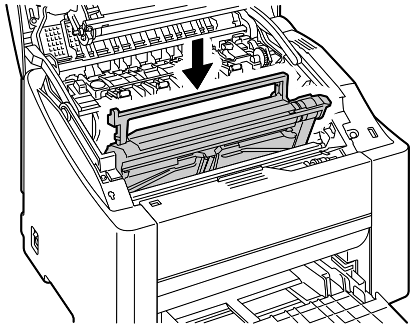
3 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。



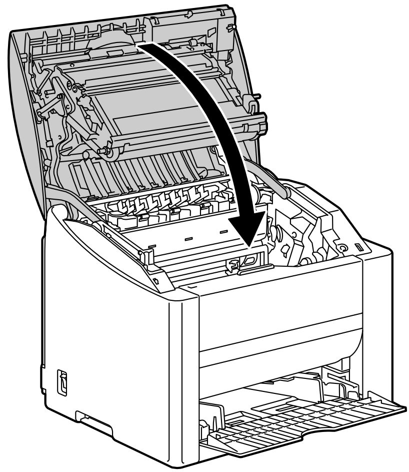
4 やわらかい乾いた布でレーザーレンズの汚れを拭き取ります。



5 ドラムカートリッジを取り付けます。



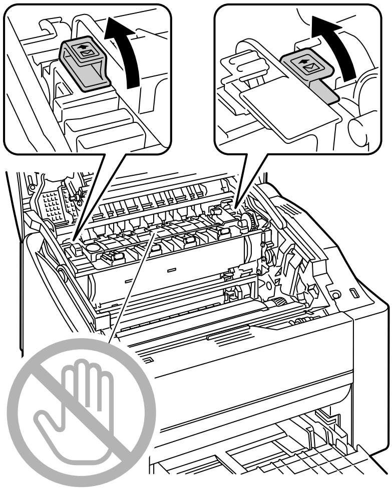
6 トップカバーを静かに閉じます。



プリンタの保管

ご注意

本プリンタを長期間使用しない場合は、定着離間レバーを起した状態（封筒側）で保管してください。



7 トラブル シューティング

はじめに

この章では、プリンタ使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙はプリンタの仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
プリンタは表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
静電気の発生を防ぐために、OHP フィルムに印刷したら、すぐに排紙トレイから取り除いていますか？
トレイに用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、プリンタの破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙

避けてください
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
OHP フィルムはさばかないでください。（OHP フィルムをさばくと、静電気が発生し、OHP フィルムどうしがくっついてしまいます。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 200 枚まで排紙できます。200 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）
排紙トレイに OHP フィルムを大量に排紙しないでください。

用紙送りの流れ

プリンタ用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1　排紙トレイ

2　転写ベルト

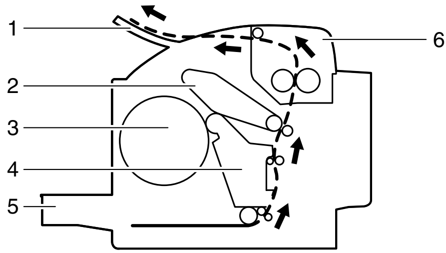
3　トナーカートリッジラック

4　ドラムカートリッジ

5　トレイ 1

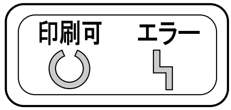
6　定着ユニット

プリンタ内部断面図



ランプによるメッセージ

操作パネルのランプ（[印刷可]、[エラー]）は、プリンタの状況を示し、問題が起こっている箇所を把握するのに役立ちます。



エラーメッセージ

これらは、プリントジョブを継続したりプリンタステータスを「待機中」にするために解決しなければならない問題の内容を示すエラーメッセージです。

[印刷可] ランプ（緑）	[エラー] ランプ（オレンジ）	状況	処置のしかた
点滅	点滅	通信エラー	プリンタケーブルを確認してください。
		解像度不足	プリンタの電源を切り、数秒後にプリンタの電源を入れ直してください。低い解像度に設定を変更してください。
交互にすばやく点滅		印刷中に用紙がなくなりました。	トレイ 1 に用紙をセットしてください。
		プリンタドライバで設定している用紙種類と異なる種類の用紙がトレイ 1 にセットされています。	トレイ 1 に正しい種類の用紙をセットしてください。
		プリンタドライバで設定している用紙サイズと異なるサイズの用紙がトレイ 1 にセットされています。	トレイ 1 に正しいサイズの用紙をセットしてください。
		手動両面印刷の裏面印刷の待機中です。	用紙の裏面をセットし、[キャンセル] キーを押してください（5 秒以下）。詳しくは、「手動両面印刷」（p.51）をごらんください。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	状況	処置のしかた
オフ	点滅	用紙なし	トレイ 1 に用紙をセットしてください。
		紙づまり	つまった用紙を取り除き、すべてのカバーを閉じてから、プリントジョブを続行してください。
		ドラムカートリッジ、またはトナーカートリッジがセットされていません。	ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを正しくセットしてください。
オフ	点灯	前ドアまたはトップカバーが開いています。	前ドア、トップカバーを閉じてください。

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	状況	処置のしかた
オフ	すばやく点滅	サービスコールが必要なエラー	プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。問題が解決しない場合は、販売店に連絡してください。

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片がプリンタ内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、プリンタ内部にトナーをこぼさないでください。

注意

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

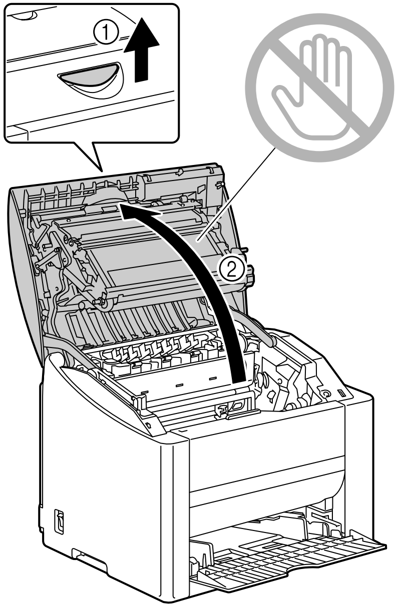
紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのランプで紙づまりのメッセージが表示されている場合は、トップカバーの開閉を行ってください。

紙づまり処理の手順

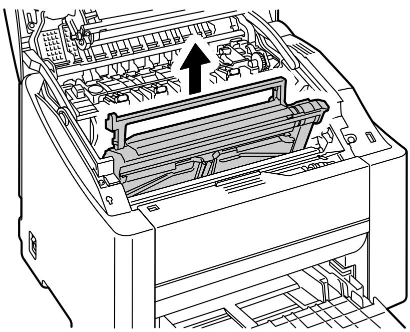
1 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。

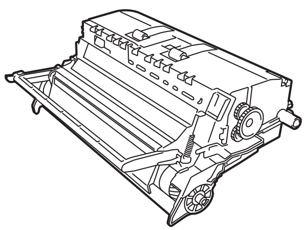


2 緑色の取っ手をつかみ、ゆっくりとドラムカートリッジを引き抜きます。



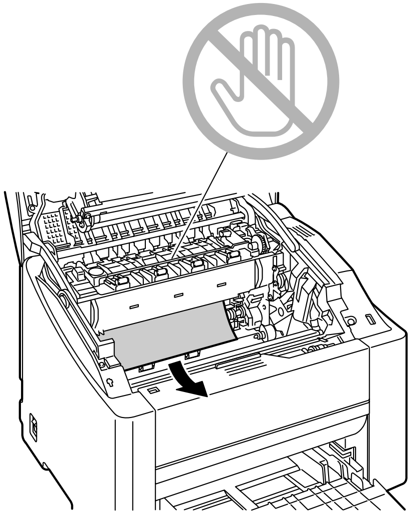
ご注意

取り外したドラムカートリッジは右図の向きで置いてください。
ドラムカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したドラムカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。



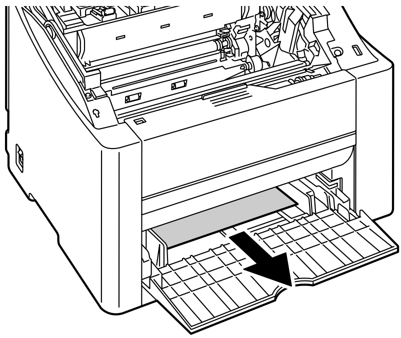
3 つまっている用紙を取り除きます。

定着部につまった用紙が取りにくい場合は、定着離間レバーを封筒側に起こしてから取り除いてください。

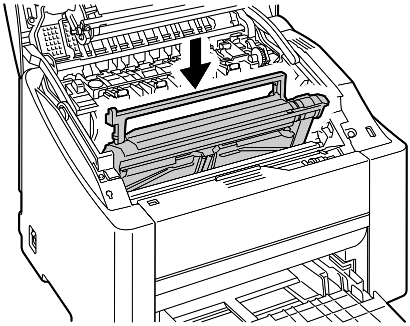


注意

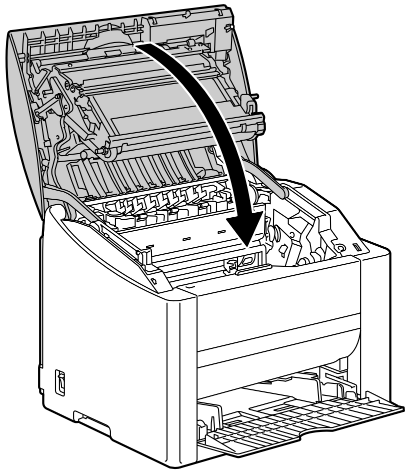
定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



4 ドラムカートリッジを取り付けます。



5 トップカバーを静かに閉じます。



紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	給紙トレイ内で用紙がくっついている。	OHP フィルム以外の用紙は、よくさばいてからセットしなおしてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	静電気が起きている。	セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
紙づまりのメッセージが消えない	プリンタをリセットする必要がある。	トップカバーを開閉してリセットしてください。
	プリンタ内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

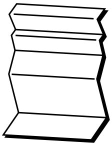
症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大セット枚数を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
	OHP フィルムまたはラベル紙が、逆向きにセットされている。	OHP フィルムやラベルの向きを正しい向きにセットしてください。
	封筒が正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを下側にしてセットしてください。
		フタが封筒の長辺にある場合は、フタを左側にしてセットしてください。
	OHP フィルムがトレイ内で静電気を起こしている。	OHP フィルムを取り除き、1 枚ずつトレイにセットします。セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
紙づまりが起きる	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.32）をごらんください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「プリンタ内部の清掃」（p.69）をごらんください。

その他の問題

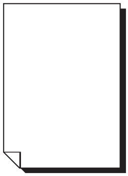
症状	原因	処置のしかた
印刷指示をしても、何も印刷されない	コンピュータの USB ポートを変更した	ステータスディスプレイの「表示 / プリンタの選択」メニューで、ステータスが空欄（オフライン表示のない）の行を選択し、[OK] をクリックします。空欄行がなくすべてが「オフライン」表示となっている場合は、コンピュータを再起動してください。ステータスディスプレイの起動のしかたは、「ステータスディスプレイを開く」（p.26）をごらんください。
プリンタの電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数がプリンタの仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.100）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙や OHP フィルム）に設定されている。	OHP フィルムなどの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙に設定されているか確認してください。
	プリンタが節電モードになっている。	プリンタが節電モードの状態では、印刷するまでに少し時間がかかります。お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	純正ではないトナーカートリッジがセットされています。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを取り付けてください。
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで用紙の種類が、プリンタにセットされている用紙と合っているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷されないページがある	プリンタのインターフェースケーブルの種類またはポートが正しくない。	インターフェースケーブルを確認してください。
	［キャンセル］キーが押された。	ジョブの印刷中に、［キャンセル］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	オーバーレイを設定して印刷しようとしたときに、magicolor 2400W 以外のプリンタドライバで作成されたオーバーレイファイルが選択されている。	オーバーレイを設定する場合は、magicolor 2400W のプリンタドライバで書き出したオーバーレイファイルを使用してください。
頻繁にプリンタがリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。
N-up 設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「部単位印刷」の設定がされている。	N-up 設定で 2 部以上の印刷を行う場合、「部単位印刷」の設定は必ずプリンタドライバの「用紙」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
異常音がする	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	プリンタ内に異物がある。	プリンタの電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

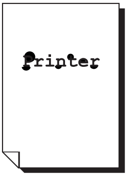
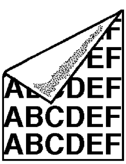
症状	原因	処置のしかた
用紙にしわができる 	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる出力用紙サイズ」（p.32）をごらんください。
	定着離間レバーを倒した状態で封筒を印刷している。	封筒を印刷する場合は、定着離間レバーを起してから印刷してください。

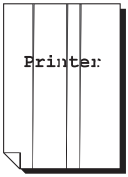
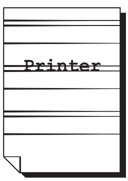
印刷品質の問題

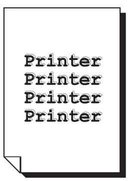
症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	プリンタドライバが正しく設定されていない。	普通紙に印刷する場合、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙以外に設定されていないか確認し、「普通紙」の設定に変更してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際にプリンタにセットされている用紙が合っていない。	プリンタに正しい用紙をセットしてください。
	電源がプリンタの仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。OHP フィルム以外の用紙であれば、用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。
	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。

症状	原因	処置のしかた
まっ黒または一面カラーで印刷される 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
印刷が薄い 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムなどに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
印刷が濃い 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある  	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
濃度が均一でない  	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
画像にムラがある、または一部分が欠ける  	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.32）をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	定着離間レバーを起した状態で封筒以外の用紙を印刷している。	封筒以外の用紙を印刷する場合は、定着離間レバーを倒してから印刷してください。

症状	原因	処置のしかた
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう 	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.32）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムなどに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
	定着離間レバーを起した状態で封筒以外の用紙を印刷している。	封筒以外の用紙を印刷する場合は、定着離間レバーを倒してから印刷してください。
しみやカスの汚れがある 	1 つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	定着離間レバーを起した状態で封筒以外の用紙を印刷している。	封筒以外の用紙を印刷する場合は、定着離間レバーを倒してから印刷してください。
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく） 	給紙ローラー、搬送ローラーが汚れている。	給紙ローラー、搬送ローラーを清掃してください。
		給紙ローラー、搬送ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	異常な線が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。
画像が欠ける 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	異常な現象が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。
横方向に線や帯が現れる 	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている、または寿命に達している。	トナーカートリッジを取り出し、ローラー部に均等にトナーがのっているか確認し、トナーカートリッジをセットしなおしてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少ない、またはなくなっている。	［トナー］ランプを確認してください。［トナー］ランプが点灯している場合、点灯している色のトナーカートリッジを交換してください。
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	トップカバーがきちんと閉まっていない。	トップカバーが確実に閉まっていることを確認してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
色再現が不十分、または色の濃度が薄い 	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせ先については、magicolor 2400W ジェネラルインフォメーションガイドをごらんください。

8 オプションの取り付け

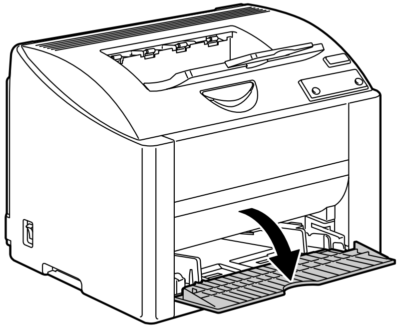
ダストカバー

トレイ 1 にダストカバーを装着すると、用紙の防塵、印刷時の運転音の低減に効果があります。

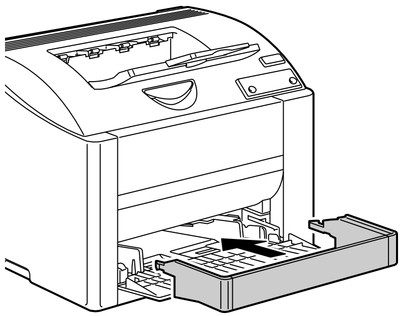
オプションの購入については、magicolor 2430 DL ジェネラルインフォメーションガイドをごらんください。

ダストカバーの取り付け

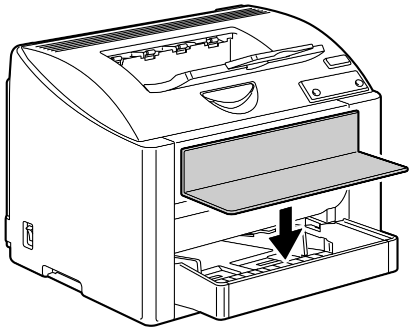
1 トレイ 1 を開きます。



2 ダストカバーを取り付けます。

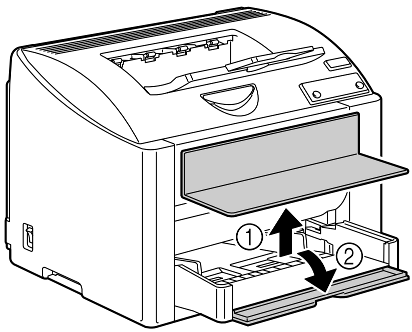


3 ダストカバーのふたを取り付けます。

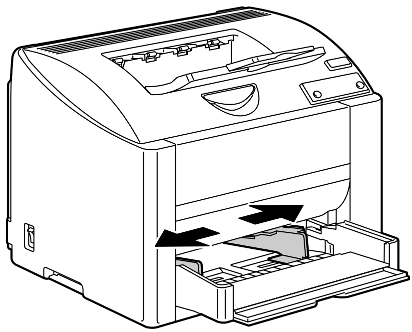


ダストカバー装着時の用紙のセット

1 ダストカバーのふたを外し（①）、前ドアを開きます（②）。



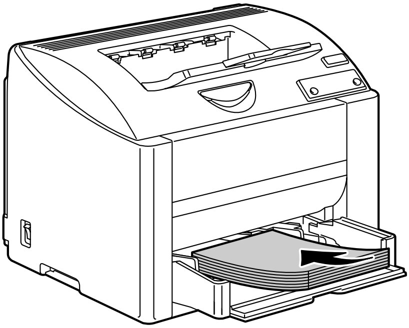
2 用紙ガイドを広げます。



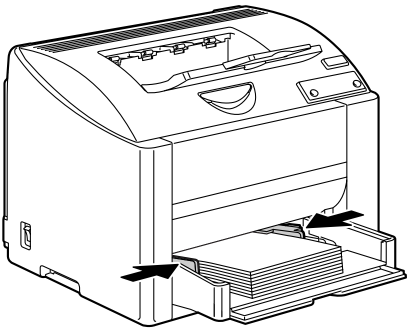
3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。

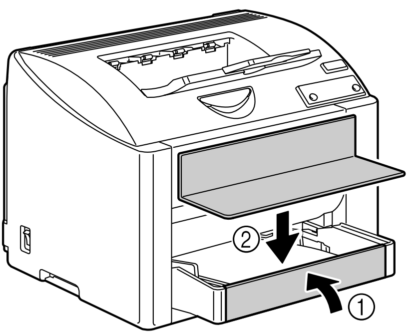
封筒は一度に 10 枚まで、ラベル紙、はがき、厚紙、光沢紙、OHP フィルムは一度に 50 枚までセットできます。



4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



5 前ドアを閉じ（①)、ふたを取り付けます（②)。



付録 A

技術仕様

プリンタ本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンタ
印刷方式	半導体レーザー + 回転ミラー
現像方式	電子写真方式
解像度	2400 dpi × 600 dpi、1200 dpi × 600 dpi 600 dpi × 600 dpi
ファーストプリント時間（普通紙）	モノクロ：14.0 秒（A4、レターの場合） フルカラー：23.0 秒（A4、レターの場合）
プリント速度（普通紙）	モノクロ：20.0 枚／分（A4、レターの場合） フルカラー：5.0 枚／分（A4、レターの場合）
ウォームアップ時間	起動時平均 45 秒
用紙サイズ	幅：92 ～ 216 mm 長さ：148 ～ 356 mm
用紙種類	• 普通紙（60 ～ 90 g/m^2） • OHP フィルム • 封筒 • 厚紙（91 ～ 163 g/m^2） • はがき • レターヘッド • ラベル紙 • 光沢紙
給紙容量	普通紙：200 枚（80 g/m^2） 封筒：10 枚 ラベル、はがき、厚紙、OHP フィルム、 光沢紙：50 枚
排紙容量	排紙トレイ：200 枚（A4、レターの場合）
動作時の温度	10 ～ 35°C
動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	100 V、50 ～ 60 Hz

消費電力	1100 W 以下 モノクロ印刷時：600W 以下 フルカラー印刷時：450W 以下 待機時：250W 以下 節電モード時：27W 以下
電流	13 A 以下
ノイズレベル	印刷時：53 dB 以下 待機時：35 dB 以下
外形寸法	高さ：341 mm 幅：430 mm 奥行：395 mm
質量	プリンタ本体：約 19.9 kg トナーカートリッジ： 製品に付属のカートリッジ＝ 0.58 kg（Y、M、C、K） 交換用カートリッジ （トナーローラーカバー含む）＝ 0.63 kg（Y、M、C） 0.70 kg（Y、M、C、K）（大容量）
インターフェース	USB 2.0 準拠
CPU	N4-Chip
標準メモリ	32 MB（増設不可）

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ : 約 1,500 ページ(Y、M、C、K) 交換用トナーカートリッジ : 約 1,500 ページ(Y、M、C) 約 4,500 ページ(Y、M、C、K)(大容量)
ドラムカートリッジ	約 45,000 ページ(モノクロ連続印刷) 約 10,000 ページ(モノクロ間欠印刷) 約 11,250 ページ(カラー連続印刷) 約 7,500 ページ(カラー間欠印刷)

上記の数値は印字率が 5% で、A4 /レターサイズの普通紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件(印字率、用紙サイズ等)や、連続印刷(平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です)か間欠的な印刷(1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合)かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります(短くなります)。また、周囲の気温や湿度も影響します。

定期交換部品の寿命の目安

本製品には、上記消耗品の他に、製品の性能を保証するために定期交換が必要な部品があります。

定期交換部品は、交換時期を過ぎた場合でも、お使いの製品に特に異常が無いときは、交換を行わないでそのままご使用いただいても問題ございません（ただし性能の保証はできませんのであらかじめご了承ください）。

定期交換部品	**平均の寿命の目安**
転写ベルト	約 135,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 33,700 ページ（カラー連続印刷） 約 45,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 22,500 ページ（カラー間欠印刷）
転写ローラー	約 120,000 ページ
定着ユニット	約 120,000 ページ

本プリンタのご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記にお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末・弊社休業日を除く午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

国際エネルギースタープログラム対応

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

索引